

国際観光学科 1年 前期 総合科目

1. 世界と日本
2. 歴史と文化
3. 初年次セミナー
4. キャリアデザイン論
5. 地域つくりかえ学
6. 生涯スポーツ実技
7. 実践英語 I
8. English Communication I
9. 日本語表現技法

国際観光学科

科目名: 世界と日本			担当教員 氏名: 文智咲		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					
<p>ほんの百数十年前までの、平均的日本人にとっての「世界」は歩いて日帰りできるせいぜい20km圏であった。今や日帰り圏は航空機を使えば1,000kmを優に超えている。激変したのは交通機関だけではなく、ヒト、モノ、カネ、技術、情報がボーダーレスになり、「世界」は限りなく広がったように見える。しかし、人間は所詮、時代の子であり、環境の子である。日本人の世界観は、自分たちの生きてきた時代や環境に大きく左右され、ある意味閉じ込められている中の「世界」である。今こそ、時代や環境の制約を乗り越えて「世界を知る力」、「日本を知る力」を学ぶ。</p>					
キーワード 世界を知る、日本を知る					
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 6. 8. 10	
A 知識・理解力		世界と日本を、相関的かつ、体系的に理解することができる。			
B 専門的技術		「世界を知る力」、「日本を知る力」を身につけ、内外で起こる事象を自らで判断できる。			
C 論理的思考力		情報や、知識を複眼的、倫理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報の収集、分析、整理ができる。			
E 自己管理力		広い視野を身につけ、自らを律して行動できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 30 %	レポート: 20 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 30 %	
特記事項: 上記の「その他」には授業中の態度、ワークシートの取り組みが含まれる。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク ◉プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テストを行う。最終試験は別に定めた日時に行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス	【予習】「世界と日本」について考える。 【復習】プリントを読む	【予習30分】 【復習30分】			
②世界の言語と日本語	【予習】プリント(世界の言語と日本語)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
③言語行動から見た日本、日本人	【予習】プリント(言語行動)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
④あいさつ—反復確認型と一回完結型	【予習】プリント(あいさつ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑤コミュニケーション・スタイルと異文化摩擦	【予習】プリント(コミュニケーション・スタイル)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑥断りの方略と沈黙の文化	【予習】プリント(断り)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑦敬語とスタイル・シフト	【予習】プリント(スタイル・シフト)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑧絶対敬語と相対敬語	【予習】プリント(敬語)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑨授受表現から見る日本文化	【予習】プリント(授受表現)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑩ほめ行動の日韓比較	【予習】プリント(ほめ)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑪領域意識	【予習】プリント(箸とチョッカラック)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑫箸とチョッカラク—誤解の回避に向けて	【予習】プリント(領域意識)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑬私が見る「世界と日本」1	【予習】プリント(世界と日本)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑭私が見る「世界と日本」2	【予習】プリント(世界と日本)を読む 【復習】ワークシート	【予習30分】 【復習30分】			
⑮総まとめ	【予習】世界と日本全体の復習をする。	【予習60分】			
使用テキスト: ・特定のテキストを指定しない。 ・毎回プリントを配布する。			その他参考文献など: 『箸とチョッカラック—ことはと文化の日韓比較』2004任栄哲・井出里咲子著 大修館書店 『菊と刀』2005ルースベネティク 講談社		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・授業に積極的に参加してください。					

国際観光学科

科目名: 歴史と文化			担当教員 氏名: 文智暎		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
観光を学ぶためには必須となる国内外の歴史、文化について学ぶ。歴史においては、各時代に起こった主要な事象を学ぶのみならず歴史とは何かについても考える。また文化については、ユーラシア、極東アジア、アフリカ、アメリカなどにおける、われわれとは異なる世界観を学び、歴史、地理、文化の複合的な観点で人々の政治、日々の食事、生活用具、学校教育、生活習慣、心象風景などを取り上げ、生活実感を出来る限り理解できるようにする。					文化、教育、言語、生活
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5. 8. 9. 10	
A 知識・理解力		内外の歴史と文化を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
B 専門的技術		内外の歴史や文化の学びから、国家や地域の特徴等を理解できる力をつける。			
C 論理的思考力		情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
E 自己管理力		地域社会に対して、自らを律して行動できる。			
H コミュニケーション力		特に外国言語を通して、他者の理解を深めることができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 20 %	レポート: 20 %	発表: 40 %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: ・上記「その他」においては授業中の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・本科目ではアクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行う。 アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 適宜小テストを行う。最終試験は別に定めた日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 適宜小テストを行い、採点し返却する。					
授業計画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
①ガイダンス	【予習】「歴史と文化」について考える。 【復習】プリントを読む				【予習30分】 【復習30分】
②世界を見る目を育てる	【予習】プリント(世界)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
③アメリカの歴史と文化1	【予習】プリント(アメリカ)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
④アメリカの歴史と文化2	【予習】プリント(アメリカ)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑤オーストラリアの歴史と文化	【予習】プリント(オーストラリア)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑥中国の歴史と文化	【予習】プリント(中国)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑦アジア諸国の歴史と文化1	【予習】プリント(アジア)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑧アジア諸国の歴史と文化2	【予習】プリント(アジア)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑨アジア諸国の歴史と文化3	【予習】プリント(アジア)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑩ヨーロッパ諸国の歴史と文化1	【予習】プリント(ヨーロッパ)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑪ヨーロッパ諸国の歴史と文化2	【予習】プリント(ヨーロッパ)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑫ヨーロッパ諸国の歴史と文化3	【予習】プリント(ヨーロッパ)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑬アフリカ諸国の歴史と文化1	【予習】プリント(アフリカ)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑭アフリカ諸国の歴史と文化2	【予習】プリント(アフリカ)を読む 【復習】ワークシート				【予習30分】 【復習30分】
⑮総まとめ	【予習】世界と日本全体の復習をする。				【予習60分】
使用テキスト: 特定のテキストを指定せず、毎回プリントを配布する。				その他参考文献など: 『FACTFULNESS』ハンス・ロスリング著(日経BP社)、『ファクト図鑑』佐藤優監修(宝島社)	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・グループワークに積極的に参加すること。					

国際観光学科

科目名: 初年次セミナー				担当教員 氏名: 米田晶、鷹西恒、齋藤望、Tim Saito	
単位	開講時期(年次・期)		科目的区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		両教員の豊富な社会経験を活かし、実社会に適用する技能、考え方について教授する。			
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
初年次前期において、国際観光学科卒業後に想定されるキャリア、リポートの作成方法とアカデミックルール、図書館など短大内施設、学園内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどを学ぶ。また海外インターン実習を意識した雇用訓練(Employability)も行う				社会人、Employability	
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1、2、4			
A 知識・理解力		短大内施設、学園内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどの知識を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
E 自己管理力		短大内施設、学園内システムの活用、短大でのマナー、社会常識、エチケットなどを理解し、自ら行動することができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 30 %	発表: %	実技試験: %	その他: 70 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プрезентーション 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: テストはない。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: その都度、指導教員と相談する。					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【全員】ガイダンス(ホームルーム)	配布資料の復習	60分			
②【米田】PROGテスト	配布資料の予復習	60分			
③【齋藤】ノートの取り方	配布資料の予復習	60分			
④【鷹西】レポートの書き方	配布資料の予復習	60分			
⑤【米田】Power Pointの使い方(プレゼンテーション作成)	配布資料の予復習	60分			
⑥【Tim】アカデミックスキルズ(英語学習)	配布資料の予復習	60分			
⑦【齋藤】グループワークにおけるコミュニケーション能力	配布資料の予復習	60分			
⑧【Tim】情報選択力(メディアリテラシー)	配布資料の予復習	60分			
⑨【鷹西】アクティビティ: 主体的な学びを促進する技法	配布資料の予復習	60分			
⑩【鷹西】コミュニケーション演習①共感的理解	配布資料の予復習	60分			
⑪【Tim】情報選択力(メディアリテラシー)	配布資料の予復習	60分			
⑫【齋藤】自己管理能力(タイムマネジメント、セルフコントロールほか)	配布資料の予復習	60分			
⑬【鷹西】コミュニケーション演習②異文化と価値観	配布資料の予復習	60分			
⑭【米田】Preziの使い方(プレゼンテーション作成)	配布資料の予復習	60分			
⑮【米田】PROGテスト結果解説	配布資料の予復習	60分			
使用テキスト: なし	その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): これから社会で、自分の頭で考え、課題を整理し、解決まで持つていける力を身に着けることは重要です。このセミナーはその入門編です。					

国際観光学科

科目名: キャリアデザイン論			担当教員 氏名: 斎藤 望		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修
実務経験を用いてどのように行政及び民間企業での様々な業種、職種の経験から、また転職経験をもつ者としてキャリアデザインやうな授業を行っているか: イップランについて講義をする。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
短大卒業後の進路に向けて、学生自らが考え、目標を設定し、計画を立てていける能力を身につけることを目的としている。卒業後の主な進路は、就職、進学(大学編入、留学)あるいは起業になるが、働くことの意義やさらなる学びへ進むことの意識付け、自分の描く未来像の模索を中心に据えながら、進路のための調査研究(企業研究、大学の学部・学科)や、実践的なノウハウ(履歴書、志望理由書、面接等)についても本授業を通して学んでいく。また、社会人として必要なコミュニケーション能力やビジネスマナーなどのスキルやノウハウを身につける。					キャリアデザイン、ライフプラン ワークライフバランス、 コミュニケーション能力、自己表現力、 ビジネスマナー、ビジネススキル
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1, 2, 3, 4, 8, 10			
A 知識・理解力		知識を体系的に理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
C 論理的思考力		情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。			
E 自己管理力		自らを律して行動できる。			
H コミュニケーション力		言語や、身体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 40 %	発表: 50 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項:					
<p>アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 デスクッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク</p> <p>テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: プrezenteーションやレポート課題を行う。</p> <p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: クラスの進み具合に合わせて、フレキシブルに対応する。プレゼンテーション及びレポートへのコメントやアドバイスは個別に対応する。</p>					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①イントロダクション: キャリアデザインについて考える	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
②現代社会の理解と多様な働き方	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
③ビジネス文書とビジネスマナー	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
④キャリアと地域社会	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑤ビジネスマナー紹介(プレゼンテーション)	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑥人間関係づくりとコミュニケーションスキル	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑦業界研究	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑧企業研究	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑨自己分析	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑩自己PR	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑪実践ワークショップ1: 仕事の探し方、選考準備の始め方	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑫実践ワークショップ2: 履歴書、エントリーシートの書き方	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑬実践ワークショップ3: 面接対策	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑭今まで学んだことの振り返り	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
⑮まとめ	【予習】資料 【復習】授業の復習	【予習】60分 【復習】60分			
使用テキスト: 適宜資料配布			その他参考文献など: •キャリアデザイン(第5版)、岩井洋・奥村玲香・元根朋美(著)、弘文堂 •ビジネスコミュニケーション&マナー、中村克彦(著)、株式会社インフォテック・サーブ		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)					

国際観光学科

科目名: 地域つくりかえ学			担当教員 氏名: 米田 晶、宮島 潔他		
単位	開講時期(年次・期)	科目的区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	必修
実務経験を用いてどのように授業を行っているか: それぞれの分野現場における実務経験を活かして、肌で感じることのできる理解を深めていく。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
主題的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひとこと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、本学の教育目標である、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高めることを目標とする。国際観光学科では地域創生のために地域で活躍する人々に触れ、地域の課題やコミュニケーションのあり方を学ぶことにより、ユニバーサルツーリズム、アドベンチャーツーリズム、食のツーリズムが必要となる社会的背景を学ぶ機会とする。					「つくり、つくりかえ、つくる」、「私」宣言、地域社会、実践躬行
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
D 問題解決力		問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。			
E 自己管理力		自らを律して行動できる。			
G 倫理観		自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる			
F チームワーク・リーダーシップ		他者と協調・協働して行動できる。また他者に方向性を示し、目標のために動員できる。			
C 論理的思考力		情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 33 %	発表: %	実技試験: %	その他: 67 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プрезентーション 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:「つくりかえレポート」は第7回に課す。 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:適宜AD面談等を行い、返却する。					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【齋藤】建学の精神、5S活動、きときとコミュニティ・サポーターとしての社会貢献	4月7日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
②【松本】教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」と週フォリオ	4月14日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
③【中村】ボランティア活動で自分発見	4月21日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
④【幼児教育学科・宮越】自己対話を見つめ直そう1(コーチング)	5月6日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
⑤【幼児教育学科・宮越】自己対話を見つめ直そう2(コーチング)	5月16日1限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
⑥【島田】人生の目標の立て方	5月20日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
⑦【島田】目標を達成するための道筋	5月27日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
⑧【鷹西】他者を理解する	6月2日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
⑨【鷹西】自分史について語ってみよう(ライフヒストリー)	6月9日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
⑩【鷹西】自己覚知	6月30日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
⑪【米田】非認知能力の重要性と次年度科目「富山コミュニティ論」の概要	7月7日3限	【復習】学習振り返り、レポート	120分		
使用テキスト: 学生ハンドブック(第2回「教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」と週フォリオ」で使用します)			その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。					

国際観光学科

科目名: 生涯スポーツ実技			担当教員 氏名: 澤 聰美		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	講義	選択
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					
実技を通して、自身の身体とその健康について、理解を深めることを目標とする。科目のキーワードは「向上心」、「チームワーク」、「コミュニケーション」であり、相互にコミュニケーションをはかりながら、調整を図りながら、問題解決にあたる基本行動を学ぶ。採用するスポーツ種目は、フィットネス、ウォーキング、ビーチボール、フレッシュテニス、レクリエーション活動などである。					
富山県発祥のスポーツ、心身の健康					
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1、3、5、8、10			
A 知識・理解力		知識を体系的に理解できる。			
F チームワーク・リーダーシップ		他者と協調・協働して行動できる。			
H コミュニケーション力		言語や体を用いて自己・他者の理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: %	レポート: 60 %	発表: 30 %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート< グループワーク > プrezentation 実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:発表・実技試験等の実施時期:毎回、授業の終わりに気づき・学びシートを提出し、学びを蓄積し、15回目に振り返りのレポートを作成する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:コメントを書いて返却する。					
授業計画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
①オリエンテーション				[復習]これまでの運動に対する自分の関わりについて振り返る	60分
②心と体の健康チェック、フィットネス1				[復習]自分の健康に合った運動の実施	60分
③フィットネス2 大学周辺をウォーキング				[復習]スマホを活用した運動量の測定	60分
④富山の観光名所をウォーキングで紹介しよう【講義:計画書の作成】				[復習]観光名所を紹介するレポートの作成	120分
⑤富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール1				[予習]ビーチボール誕生について調べる	60分
⑥富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール2				[復習]ビーチボールに向けての体力向上トレーニングの実施	60分
⑦富山県発祥のスポーツの体験:ビーチボール3 試合運営の経験				[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分
⑧富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス1				[予習]フレッシュテニス誕生について調べる	60分
⑨富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス2				[復習]フレッシュテニスに向けての体力向上トレーニングの実施	60分
⑩富山県発祥のスポーツの体験:フレッシュテニス3 試合運営の経験				[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分
⑪レクリエーション活動の体験				[復習]レクリエーションの意義についてまとめる	60分
⑫スポーツ・レクリエーション大会:チームによる企画案の作成1				[復習]企画案の作成	120分
⑬スポーツ・レクリエーション大会:チームによる企画の準備				[予習]用具の準備・作成	60分
⑭スポーツ・レクリエーション大会の運営				[復習]試合運営のやりがいと難しさについて	60分
⑮スポーツ・レクリエーションで地域に貢献するには【講義】				[復習]振り返りレポートの作成	120分
使用テキスト:必要に応じて配布する				その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):運動にふさわしい服装で、装飾品は怪我につながるのではずすこと。朝食を取ってから来ること。					

国際観光学科

科目名: 実践英語 I			担当教員 氏名: 毛利 有一		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: ホテルマンとしての経験を活かして、ホスピタリティを重視した実践的な英語について教授する。					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
本学の目標は、インバウンドによる地域創生に資する人材教育であり、英語教育は欠かせない科目群である。実践英語では、読む、聞く、話す、書くの4技能の基本を中心に、それぞれの学生が中学校以降の英語学習の中で積み残した部分を補い、より正確なクオリティの高い英語力を身につけることを目標とする。さらに卒業時TOEIC700~850点を目指す試験対策も隨時取り入れることとする。					TOEIC、リスニング、リーディング、映画
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1. 2. 3. 4. 5. 10		
A 知識・理解力		英語を体系的に理解する。			
B 専門的技術		正確な英語力習得を目指し、自己実現に技術が活用できる。			
C 論理的思考力		複眼的、論理的に英語の4技能を発揮できる。			
D コミュニケーション力		クオリティの高い英語力で他者との理解を深めるコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 80 %	レポート: 0 %	発表: %	実技試験: 0 %	その他: 20 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: (課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プрезентーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 中間試験および最終試験を行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験を実施し、採点し返却する。					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
②TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
③TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
④TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑤中間試験1			【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑥TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑦TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑧TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑨TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑩中間試験2			【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分	
⑪TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑫TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑬TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑭TOEIC対策 / Movie Trailers and Clips			【予習】教科書、資料 【復習】教科書、動画、資料	【予習】30分 【復習】60分	
⑮これまでの学習の総合的な振り返り			【予習】これまでの範囲の復習	【予習】30分 【復習】60分	
使用テキスト: TOEIC(R) L&Rテスト 基本例文990選 (TTT速習シリーズ) ISBN 9784757436541			その他参考文献など: Netflix(推奨)、Amazon Primeなど、動画配信サイトへの登録		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業は、英文法、TOEIC対策、動画を使用したアクティビティがメインとなります。最終的な成績は、授業への積極性、試験結果等で総合的に評価します。まずは基礎的な英文法をマスターし、TOEIC英語およびナチュラルスピードの英語に触れる「習慣」を身につけていきましょう。					

国際観光学科

科目名: English Communication I			担当教員 氏名: 斎藤 ティム、斎藤 望		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
3	1年次	前期	総合科目	演習	必修
実務経験を用いてどのように授業を行っているか:					留学や業務経験(英語教育や観光産業)の経験を活かして、英語コミュニケーションについて教授する。
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
国際化、グローバル化が進み、英語を使う機会は日常生活のみならず、日本人以外の上司、同僚、部下が各企業に増えてきており、様々な職場で求められている。このような社会的ニーズを踏まえてこの授業ではできるだけ英語を話し、英語で考え、英語で表現することに慣れ、在学中に実践的レベルに達することを目標としている。授業はすべて英語で行われる。特にこの授業は後期からスタートする海外実習を見据えた、海外生活や海外での業務遂行のための実践的な授業内容とする。					実用英語、観光英語、コミュニケーションスキル
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
A 知識・理解力		1、2、3、4、5 英語の知識を理解するとともに、学んだ知識をつないでいくことができる。			
H コミュニケーション力		言語や身体を用いて自己・他者に理解を深めコミュニケーションができる。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 40 %	レポート: 25 %	発表: 25 %	実技試験: %	その他: 35 %	
特記事項:					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 復習クイズやプレゼンテーションを行う。授業の進捗状況は、クラスの進み具合を踏まえ、フレキシブルに対応する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 復習クイズやプレゼンテーションのフィードバックは、個別に指導する。					
授業計画				準備学習(予習・復習等)	
				学習内容	学習に必要な時間(分)
① <Passport 1> Introduction & Where are you from?				pgs4-7 & Icebreaker activities	240
② 第1回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice				TOEIC skills, DMM practice	240
③ <Passport 1> Unit 1: Would you like Chicken or Fish?				On board an airplane	240
④ <Passport 1> Unit 2: Can I have your passport, please?				Going through immigration	240
⑤ 第2回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice				TOEIC skills, DMM practice	240
⑥ <Passport 1> Unit 3: My mother has her own business				Talking about our families	240
⑦ <Passport 1> Unit 4: Can I check my email?				Asking for permission to do things	240
⑧ 第3回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice				TOEIC skills, DMM practice	240
⑨ <Passport 1> Unit 5: Are you ready to order?				Ordering in a restaurant	240
⑩ <Passport 1> <Passport 1> Destination: the UK & Review				Learning about the UK	240
⑪ 第4回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice				TOEIC skills, DMM practice	240
⑫ <Passport 1> Unit 1-5 Review Quiz				Review language from units 1-5	240
⑬ <Passport 1> Unit 6: Where's the station?				Asking for and giving directions	240

⑯ 第5回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
⑰ <Passport 1> Unit 7: Can I use my card in this ATM?	Using a bureau de change	240
⑱ <Passport 1> Unit 8: Do you have a non-smoking room?	Checking-in at a hotel	240
⑲ 第6回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
⑳ <Passport 1> Unit 9: I have a stomach ache	Going to the doctor	240
㉑ <Passport 1> Unit 10: I'm from Japan	Talking about our home countries	240
㉒ 第7回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
㉓ <Passport 1> Destination: New Zealand & Unit 6–10 Review Quiz	Learning about New Zealand Review language from units 6–10	240
㉔ 第1回目 Group Role Play	Scaffolded group work	240
㉕ 第8回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
㉖ 第1回目 Group Role Play	Groups perform role plays from units 1–10	240
㉗ <Passport 1> Unit 11: What time does it start?	Organising trips at a visitor information centre	240
㉘ 第9回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
㉙ <Passport 1> Unit 12: Have you been to the islands?	Talking about experiences	240
㉚ <Passport 1> Unit 13: I really like rugby	Talking about likes and dislikes	240
㉛ 第10回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
㉜ <Passport 1> Unit 14: Where should we meet?	Making arrangements to meet	240
㉝ <Passport 1> Unit 15: How about 400 baht for two?	Bartering with shop staff	240
㉞ 第11回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
㉟ <Passport 1> Destination: Thailand & Unit 11–15 Review Quiz	Learning about Thailand Review language from units 11–15	240
㉟ <Passport 1> Unit 16: I'd like to send this to Japan, please	Sending mail from a post office	240
㉟ <Passport 1> Unit 17: We're staying five more days	TOEIC skills, DMM practice	240
㉟ <Passport 1> Unit 18: I lost my bag!	Ways to describe attractions	240
㉟ <Passport 1> Unit 19: Reporting losses to the authorities	Reporting losses to the authorities	240
㉟ <Passport 1> Unit 20: Transportation and numbers	TOEIC skills, DMM practice	240
㉟ <Passport 1> Unit 21: Words to describe places	Transportation and numbers	240
㉟ <Passport 1> Destination: Ireland & Unit 16–20 Review Quiz	Words to describe places	240
㉟ <Passport 1> Unit 22: Learning about Ireland Review language from units 16–20	Learning about Ireland Review language from units 16–20	240
㉟ 第2回目 Group Role Play	Scaffolded group work	240
㉟ 第13回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
㉟ <Passport 1> Unit 23: Which bus goes to the airport?	TOEIC skills, DMM practice	240
㉟ <Passport 1> Unit 24: Transportation and numbers	Transportation and numbers	240
㉟ <Passport 1> Unit 25: Words to describe places	Transportation and numbers	240
㉟ <Passport 1> Unit 26: Learning about Ireland Review language from units 16–20	Words to describe places	240
㉟ 第2回目 Group Role Play	Scaffolded group work	240
㉟ 第14回 Test Taking Skills (R & L), Online Speaking Practice	TOEIC skills, DMM practice	240
㉟ <Passport 1> Unit 27: Groups perform role plays from units 1–10	Groups perform role plays from units 1–10	240
㉟ Unit Review, Feedback and Reflection	Unit Review	240
使用テキスト: ・Passport 1, A. Buckingham & L. Lansford, Oxford, ISBN 978-0-19-471816-5 ・Passport 1 Workbook, Angela Buckingham, Oxford, ISBN 978-0194718219 ・キクタンTOEIC L&Rテスト SCORE600, アルケ, ISBN978-4757436008	その他参考文献など:	
受講上の留意点(担当者からのメッセージ):		

国際観光学科

科目名： 日本語表現技法			担当教員 氏名： 宮城 信		
単位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	必修
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：			中高教員だった経験を活かして、教え方(伝え方)についての実践的な授業を実施する。		
授業科目的学習教育目標の概要：					キーワード
日本語を表現することは、自己表現することである。文章や会話を通して自己の在りようが現れることから、適切に伝えるための日本語表現の基礎基本を学ぶとともに、他者との関係を豊かにする自己表現のための態度を養う。					表現、話し方・書き方、語彙、コミュニケーション、日本語のシステム
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7	
A 知識・理解力		知識を体系化し理解できる。			
B 専門的技術		日本語を使った自己実現に活用できる。			
E 自己管理力		自らを律して表現活動ができる。			
H コミュニケーション力		言語や身体を用いて自己・他者の正しい理解を深めることができる。			
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト： 50 %	レポート： 20 %	発表： 15 %	実技試験： %	その他： 15 %	
特記事項： ・上記「その他」には、小テスト・授業中の話合い活動への積極的な参加状況の評価が含まれる。 ・授業の課題として、3回程度のレポートを課す。					
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習  実習、フィールドワーク テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期：適宜小課題を課す。最終試験は定められた日時に行う。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法：課題に対してコメントを付す。課題・評価に関する質問は隨時受け付ける。					
授業計画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①ガイダンス「「日本語」で考える～伝わるとはどういうことか」			【復習】授業内容の確認及び課題	【復習】120分	
②コミュニケーションの方略を考える(1)「説明する」			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
③コミュニケーションの方略を考える(2)「謝罪する」			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
④コミュニケーションの方略を考える(3)「依頼する」			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑤課題研究(5/18)：レポート作成			【予習】事前に基礎知識を収集する。	【予習】120分	
⑥日本語概説			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑦文章表現法(1)文章を書くときの発想と語彙			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑧文章表現法(2)表現の型・文章構成の型			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑨文章表現法(3)説明する文章の書き方			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑩文章表現法(4)主張する文章の書き方			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑪課題研究(6/29)：レポート作成			【予習】事前に基礎知識を収集する。	【予習】120分	
⑫ディベート演習(1)ディベートの基礎・ミニミニディベート			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑬ディベート演習(2)論理的思考・批判的思考			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑭ディベート演習(3)論を組み立てる			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
⑮学修のまとめ			【予習】事前に基礎知識を収集する。 【復習】授業内容の確認及び課題	【予習】120分 【復習】120分	
使用テキスト： ・特定のテキストは指定しない。(※毎時間プリント等を配布する。) ・必要に応じて資料を配付する。			その他参考文献など： なし。		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： ・毎時間話合い活動を組み込む。積極的に参加すること。 ・課題には真剣に取り組み、提出期限を遵守すること。					